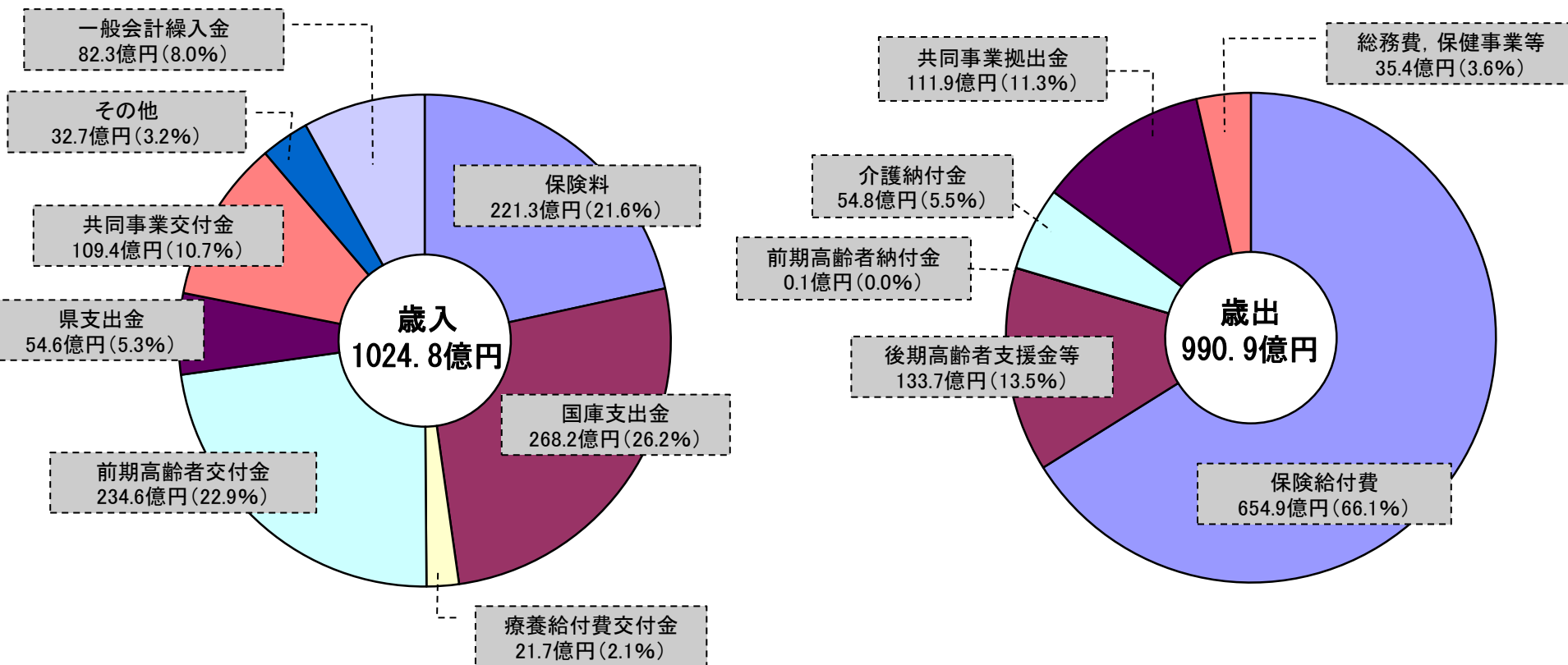


平成26年度
仙台市国民健康保険事業特別会計
決算(案)について

1 平成26年度決算について

- ① 歳入決算額 1,024億7,816万円（前年度比▲ 24億6,324万円, 2.3%減）
歳出決算額 990億8,901万円（前年度比▲ 27億23万円, 2.7%減）
歳入歳出収支 33億8,915万円
- ② 保険給付費 654億9,216万円（前年度比▲ 2億5,484万円, 0.4%減）
- ③ 被保険者数（4～3月平均）24万1,528人（前年度比▲ 7,186人, 2.9%減）
- ④ 一人あたり医療費 324,345円（前年度比+6,150円, 1.9%増）
- ⑤ 保険料現年度収納率 90.12%（前年度比2.04ポイント増）

2 平成26年度決算国保財政の内訳



3 平成26年度歳入決算について

(単位:億円)

項目	H26			H25	H26-H25
	予算現額	決算額	決算-予算	決算額	増減額
国民健康保険料	234.8	221.3	▲ 13.5	223.0	▲ 1.7
国庫支出金	237.5	268.2	30.7	286.2	▲ 18.0
療養給付費交付金	17.4	21.7	4.3	21.9	▲ 0.2
前期高齢者交付金	234.7	234.6	▲ 0.1	220.7	13.9
県支出金	52.2	54.6	2.4	57.4	▲ 2.8
共同事業交付金	116.5	109.4	▲ 7.1	110.4	▲ 1.0
その他	32.4	32.7	0.3	19.7	13.0
一般会計繰入金	90.9	82.3	▲ 8.6	110.1	▲ 27.8
合計	1016.4	1024.8	8.4	1,049.4	▲ 24.6

国民健康保険料は、被保険者数の減等に伴う調定額の減少により、H25年度と比較して約1.7億円の減となった。

国庫支出金は、被保険者数の減等に伴う対象医療費の減により、H25年度決算と比較して約18.0億円の減となった。

前期高齢者交付金は、前期高齢者(65~74歳)に係る保険給付費の増等により、H25年度決算額と比較して、約13.9億円の増となった。

前年度からの繰越金の増等により、H25年度決算額と比較して、約13.0億円の増となった。

一般会計繰入金は、被災自治体への国からの財政支援(調整交付金)が交付されたこと等により、約27.8億円の減となった。

4 平成26年度歳出決算について

(単位:億円)

項目	H26			H25	H26-H25
	予算現額	決算額	不用額	決算額	増減額
総務費	15.7	15.1	0.6	15.6	▲ 0.5
保険給付費	670.1	654.9	15.2	657.5	▲ 2.6
後期高齢者支援金等	133.7	133.7	0.0	135.0	▲ 1.3
前期高齢者納付金	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0
介護納付金	54.9	54.8	0.1	56.7	▲ 1.9
共同事業拠出金	118.5	111.9	6.6	109.7	2.2
保健事業費	10.7	9.9	0.8	9.6	0.3
その他	12.6	10.4	2.2	33.7	▲ 23.3
合計	1016.4	990.9	25.5	1,017.9	▲ 27.0

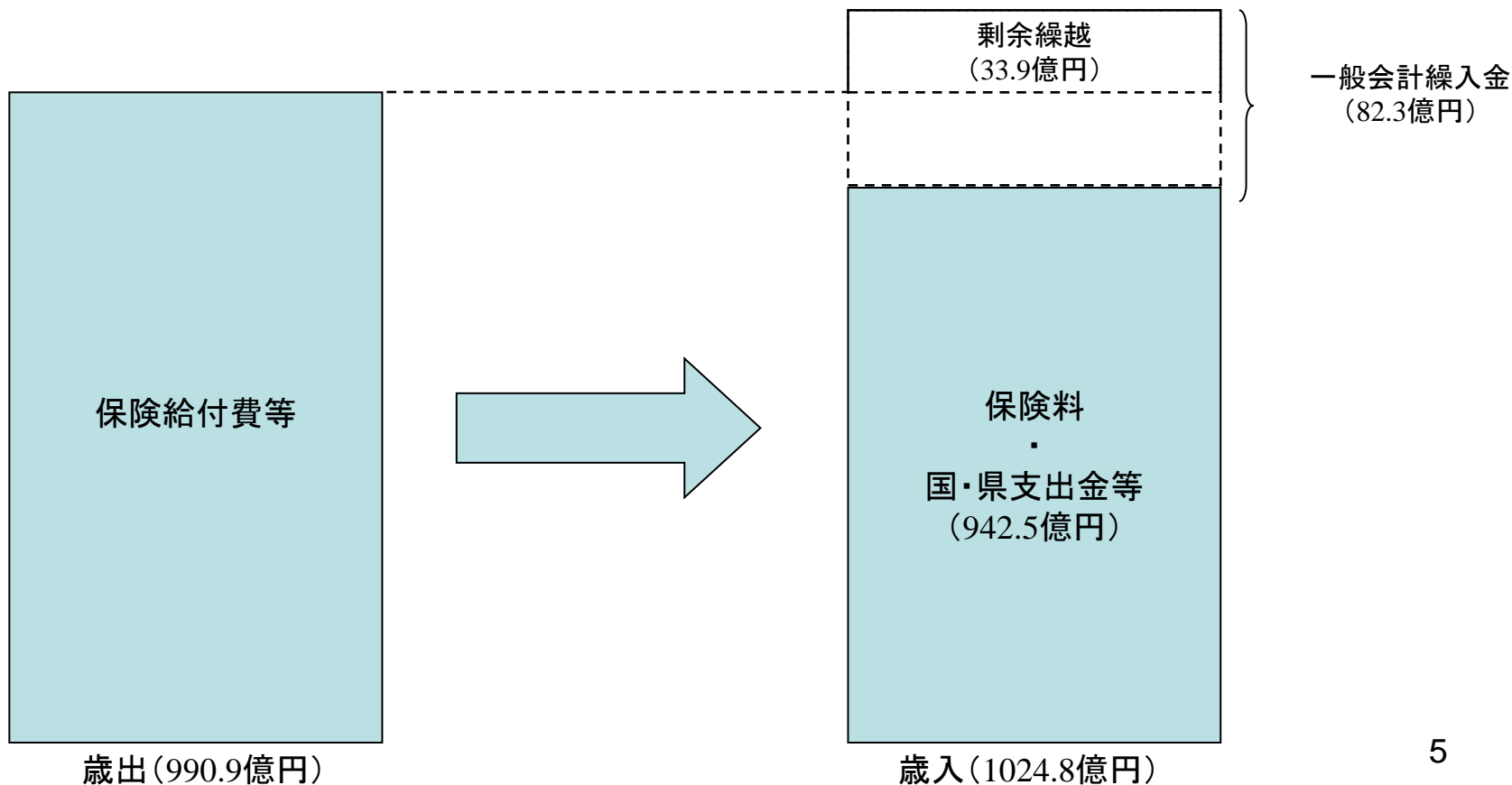
保険給付費は、被保険者数の減少等により、H25年度決算額と比較して約2.6億円の減となった。

後期高齢者支援金等及び介護納付金は、被保険者数の減少等により、H25年度決算額と比較して、それぞれ約1.3億円、1.9億円の減となった。

償還金（国庫支出金の返還等）の減等によって、H25年度決算額と比較して約23.3億円の増となった。

5 決算時の一般会計繰入金の考え方

保険給付費などの歳出額と、納付された保険料や交付を受けた国・県支出金などの歳入額の差として生じた不足額は、一般会計からの繰入金で収支を均衡させている。
平成26年度決算では、国からの被災自治体への財政支援(調整交付金)が平成25年度に引き続き実施されたことで生じたプラス収支分を翌年度に剰余繰越している。

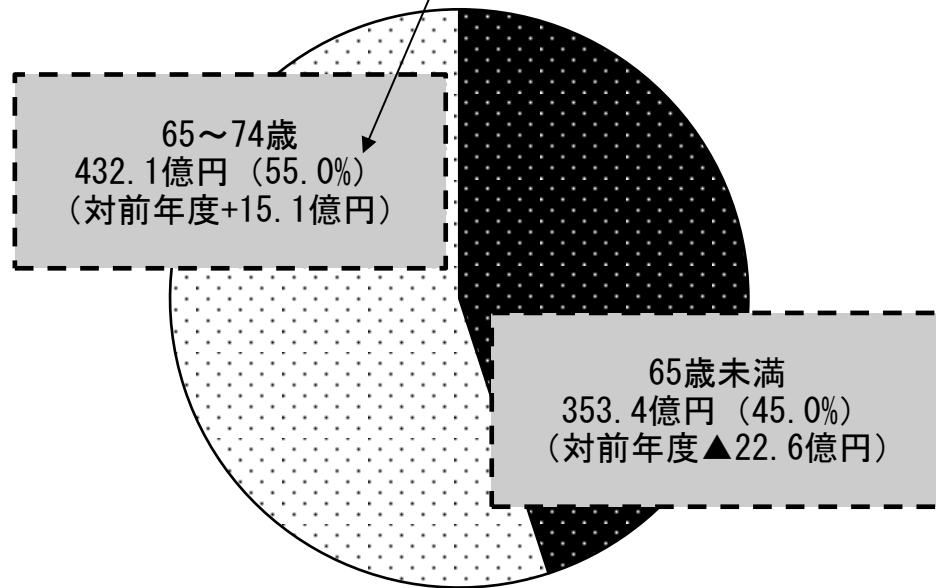
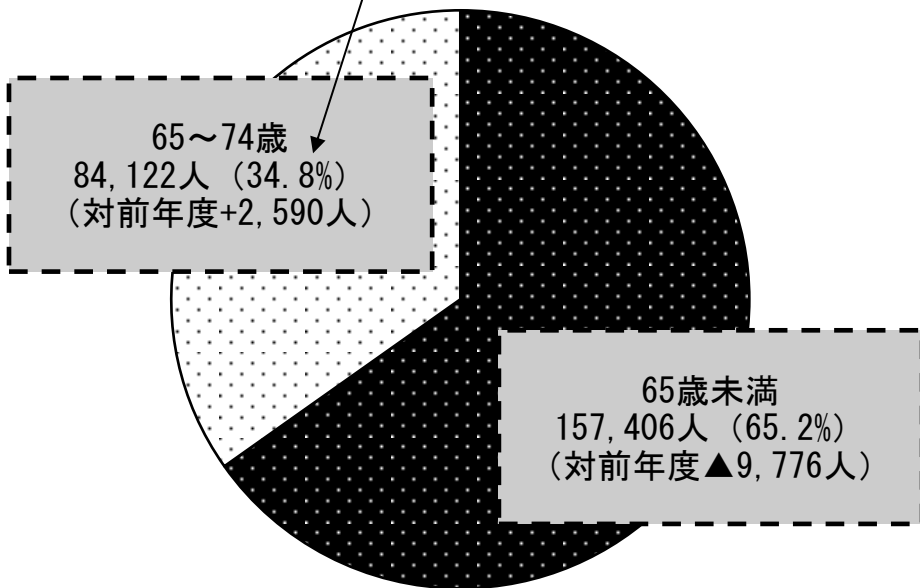


6 被保険者の年齢構成と医療費

被保険者数の34.8%を占める65～74歳の被保険者が、医療費では全体の55.0%を占めている。

被保険者数（4～3月平均）
241,528人（対前年度▲7,186人）

医療費（総計）
785.5億円（対前年度▲7.5億円）



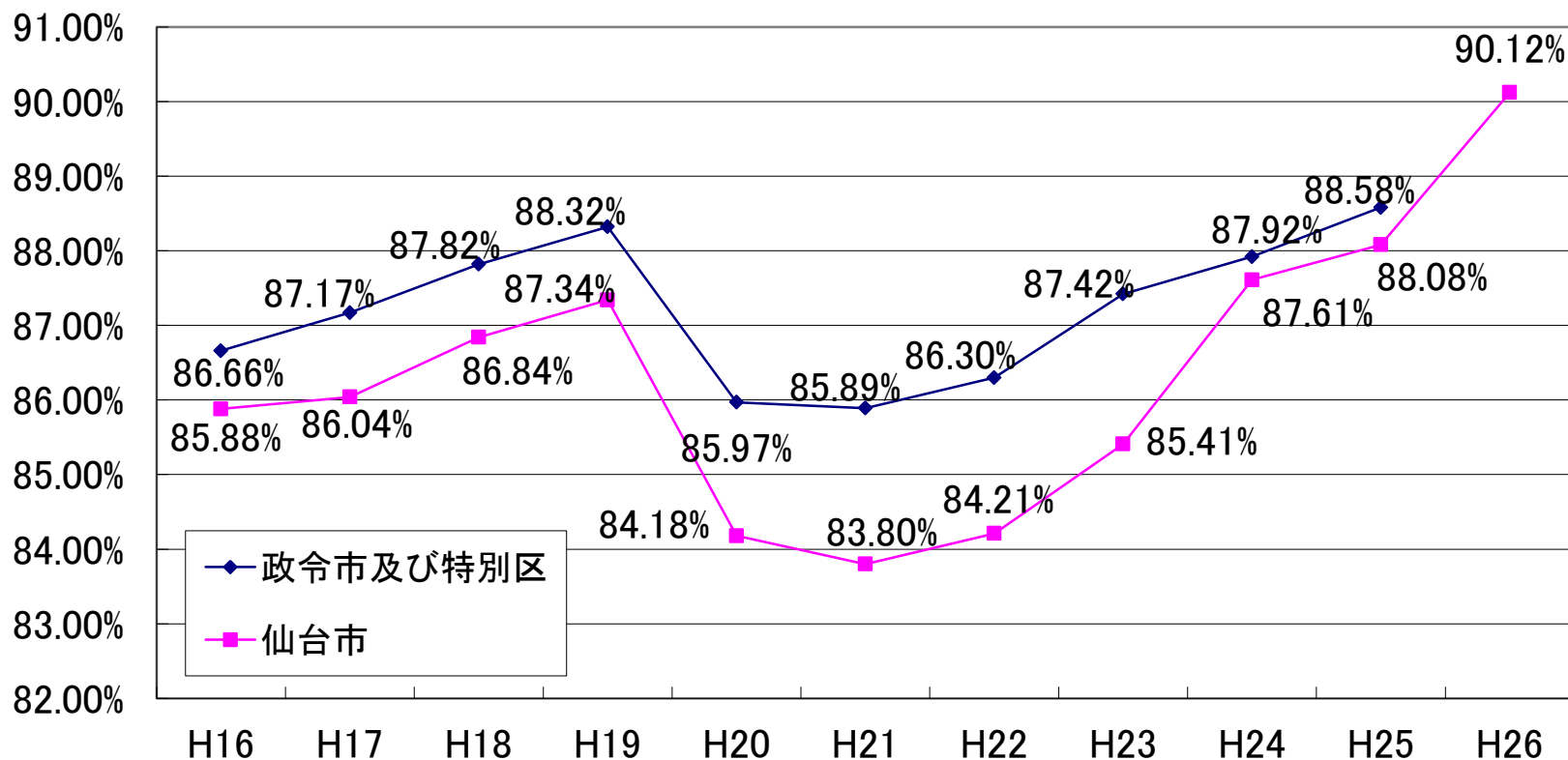
一人当たりの医療費

(単位:円)

	65～74歳	65歳未満	全体
H25年度	513,415	223,802	318,195
H26年度	514,567	223,380	324,345
増減率	0.2%	▲0.2%	1.9%

7 保険料収納率(現年度)の推移

26年度は「計画的な滞納整理の実施」「明確な役割分担に基づく期別滞納整理」「市税等との連携強化及び福祉系債権との共同徴収」等により、2.04ポイントの増となった。



(資料)厚生労働省「国民健康保険(市町村)の財政状況について」
※H26年度の仙台市の収納率については速報値

8 市町村国保の現状

①年齢構成が高く、医療費水準が高い

・65～74歳の割合：国保32.5%，協会けんぽ5.0%，健保組合2.6%

②所得水準が低い

・加入者一人あたり平均所得：国保83万円，協会けんぽ137万円，健保組合200万円

③保険料負担が重い

・加入者一人あたり保険料/加入者一人あたり所得：国保9.9%，協会けんぽ7.6%，健保組合5.3%

④保険料(税)の収納率低下

・91.38%(平成11年度)⇒90.42%(平成25年度速報値)

⑤一般会計繰入・繰上充用

・市町村による法定外繰入額：約3,900億円，繰上充用額：約1,000億円(平成25年度速報値)

⑥財政運営が不安定になるリスクの高い小規模保険者の存在

・1,717保険者中3,000人未満の小規模保険者 430(全体の1/4)

⑦市町村間の格差

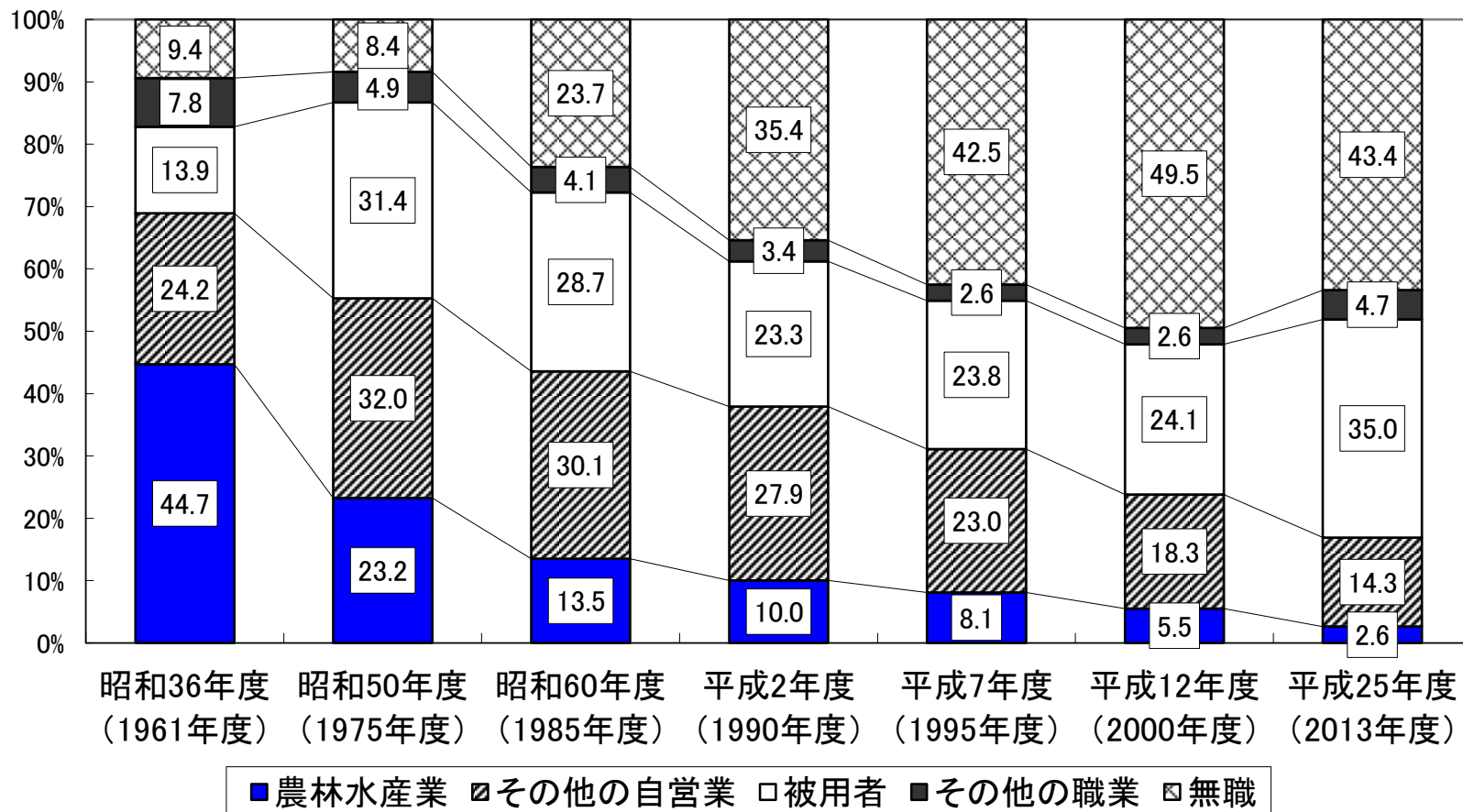
・一人あたりの保険料の格差：最大2.9倍(東京都) 最小1.3倍(富山県)

※東日本大震災による保険料(税)減免の影響が大きい岩手県，宮城県，福島県を除く。

9 市町村世帯主の職業別世帯構成割合の推移

無職者43.4%+被用者35.0=78.4%

市町村国保は、もはや自営業者のための制度ではなく、被用者保険等の加入者を除く、全ての者を被保険者とする公的医療保険制度であり、国民皆保険の最後の砦である。



(資料)厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査」